

日々是Oracle APEX

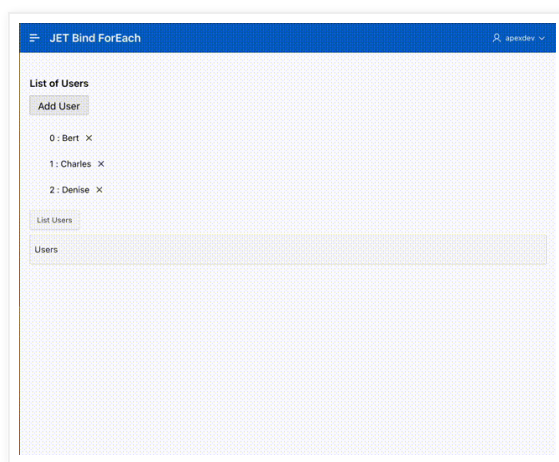
Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2023年9月4日月曜日

Oracle JETのoj-bind-for-each要素をOracle APEXで扱う

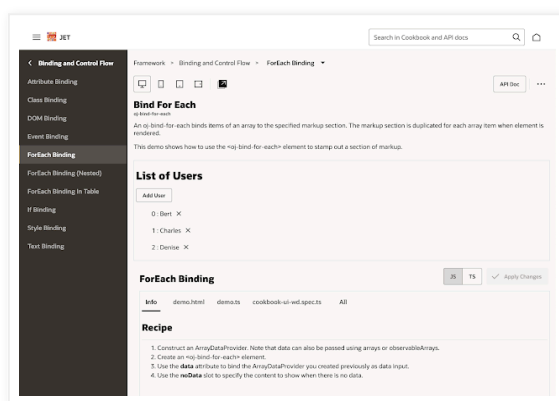
Oracle JET Cookbookに記載されているoj-bind-for-eachのサンプルをOracle APEXで実装してみます。

作成されたアプリケーションは以下のように動作します。



実装の元にしたoj-bind-for-eachのサンプルは、Oracle JET Cookbookの以下のページです。

<https://www.oracle.com/webfolder/technetwork/jet/jetCookbook.html?component=binding&demo=foreach>

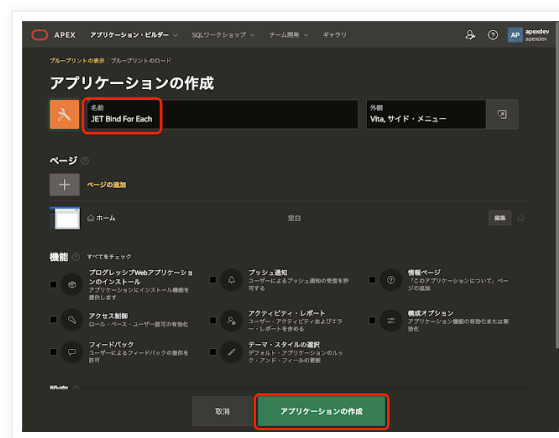


Oracle APEXのアプリケーションでは、Oracle JETでのデータ操作の結果をOracle APEXに取り込む実装を追加しています。

JETのform-containerからユーザーを取り出すボタンLIST_USERSと、取り出したユーザーを表示するページ・アイテムP1_USERSを作成しています。

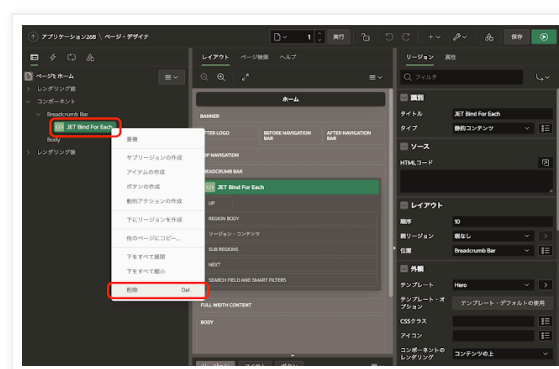
以下より実装手順を説明します。

アプリケーション作成ウィザードを起動し、空のアプリケーションを作成します。名前は**JET Bind For Each**とします。今回の実装ではデータベースのデータは参照せず、HTMLとJavaScriptだけの実装です。そのためOracle JET Cookbookのサンプルを、あまり変更せずに利用できます。



アプリケーションが作成されたら、**ページ・デザイナー**で**ホーム・ページ**を開きます。

最初に**Breadcrumb Bar**にあるリージョン**JET Bind For Each**を削除します。



Body以下にリージョンを新規作成します。

識別の**タイトル**は**For Each**、**タイプ**として**静的コンテンツ**を選択します。**ソース**の**HTMLコード**として以下を記述します。これはOracle JET Cookbookのdemo.htmlのform-container要素を抜き出したもので、変更はありません。

```
<div id="form-container">
  <h4>List of Users</h4>
  <oj-button id="addPerson" class="oj-button-sm" on-oj-action="[addUser]">Add User</oj-button>
  <ul>
    <oj-bind-for-each data="[dataProvider]">
      <template>
        <li class="oj-flex oj-sm-align-items-center">
          <oj-bind-text value="[$current.observableIndex]"></oj-bind-text>
          :
          <oj-bind-text value="[$current.data.name]"></oj-bind-text>
          <oj-button
            class="oj-button-sm oj-sm-margin-1x-vertical"
            chroming="borderless"
```

```

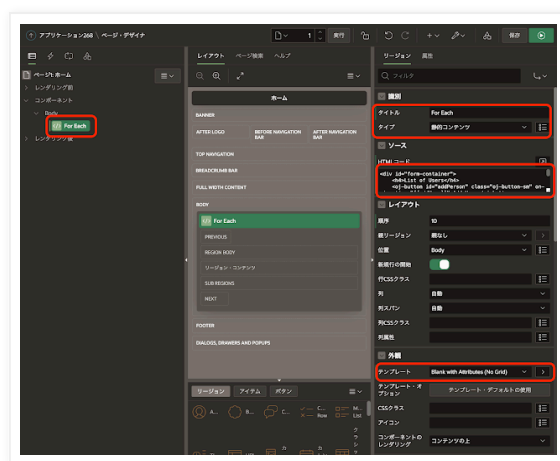
        display="icons"
        on-oj-action="[[removeUser]]">
        <span slot="startIcon" class="oj-ux-ico-close"></span>
        Remove
    </oj-button>
</li>
</template>
<template slot="noData">
    <div class="oj-typography-body-md oj-typography-bold oj-sm-padding-2x-top">
        No Users to display
    </div>
</template>
</oj-bind-for-each>
</ul>
</div>

```

demo-foreach.html hosted with ❤ by GitHub

[view raw](#)

外観のテンプレートとしてBlank with Attributes (No Grid)を選択します。



ページ・プロパティのJavaScriptのファイルURLとして以下を記述します。

[require jet]

ファンクションおよびグローバル変数の宣言として以下を記述します。

var simple;

ページ・ロード時に実行として以下を記述します。

Oracle JETのボタンoj-buttonにon-oj-actionが指定されている場合、このボタンをクリックするとページの送信が実行されます。これはAPEXで定義されている処理が行われるためです。Oracle JETではイベントに対してpreventDefaultを呼び出すことができないため、Oracle JETが生成するボタン要素に属性type="button"を設定することにより、APEX側でページの送信を実行しないようにしています。

```
require(["require", "exports", "ojs/ojbootstrap", "knockout", "ojs/ojarraydataprowider", "ojs/o
```

```

"use strict";

class SimpleModel {
    constructor() {
        this.userIdCount = 0;
        this.users = ko.observableArray([]);
        /*
        this.users = ko.observableArray([
            {
                name: "Bert",
            },
            {
                name: "Charles",
            },
            {
                name: "Denise",
            },
        ]);
        */
        this.dataProvider = new ArrayDataProvider(this.users, {
            keyAttributes: "name",
        });
        this.removeUser = (event, current, bindingContext) => {
            this.users.remove(current.data);
        };
        this.addUser = (event) => {
            this.users.push({
                name: "User " + this.userIdCount++,
            });
        };
    }
}

(0, ojbootstrap_1.whenDocumentReady)().then(() => {
    /*
    * APEXによるページ送信を抑制するため、JETが生成するbutton要素にtype="button"を追加する。
    * 以下のForumを参照。
    * https://forums.oracle.com/ords/apexds/post/how-to-avoid-a-oj-button-submit-the-page-
    */
    let form = document.getElementById("form-container");
    let ojbutton = form.querySelector("oj-button#addPerson");
    $(ojbutton).ready(() => {
        ojbutton.querySelector("button").setAttribute("type", "button");
    });
    /*
    * form-containerの初期化。
    */

```

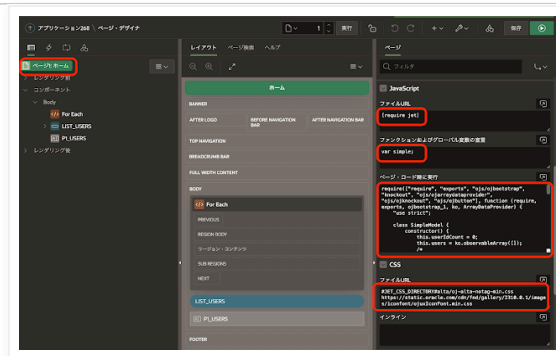
```

simple = new SimpleModel();
ko.applyBindings(simple, form);
/*
 * 初期化後にデータを追加する。
 */
simple.users.push({ name: "Bert" });
simple.users.push({ name: "Charles" });
simple.users.push({ name: "Denise" });
});
});

```

demo-foreach.js hosted with ❤ by GitHub

[view raw](#)



CSSのファイルURLとして以下を記述します。

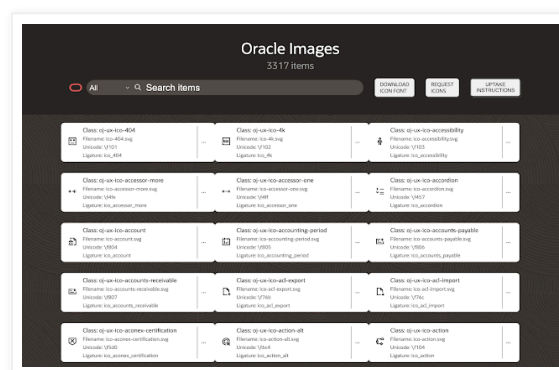
#JET_CSS_DIRECTORY#redwood/oj-redwood-notag-min.css

<https://static.oracle.com/cdn/fnd/gallery/2310.0.1/images/iconfont/ojuxIconFont.min.css>

ユーザー名の右隣に表示されている X をクリックすると、そのユーザーが削除されます。この X はCSSクラスoj-ux-ico-closeを指定することにより表示されています。

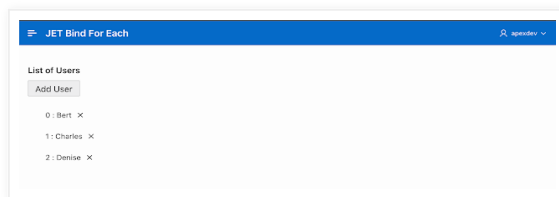
このアイコンを表示するため、ojuxIconFont.min.cssを読み込んでいます。このファイルに定義されているフォントの一覧は、以下より参照できます。2023年9月現在でのバージョンで、随時更新されるようです。

<https://static.oracle.com/cdn/fnd/gallery/2401.0.1/images/preview/index.html>



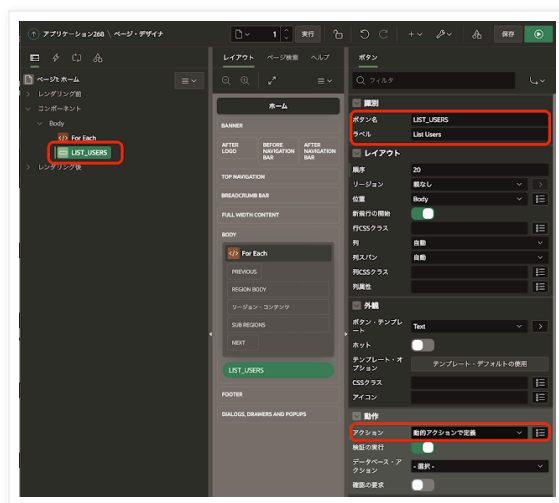
UPTAKE INSTRUCTIONSをクリックしてもエラーになります。Oracle APEXについては、上記のojuxIconFont.min.cssをCSSのファイルURLに指定することで、これらのフォントを利用できるようになります。

この状態でアプリケーションを実行すると、Oracle JET Cookbookの状態まで実装できていることが確認できます。



画面に表示されているユーザーの一覧は、Oracle JETのコンポーネントで操作されます。操作の結果（ユーザーの削除や追加）をOracle APEXで取得するために、ボタンとページ・アイテムを追加します。

ボタンLIST_USERSを作成します。ラベルはList Users、動作のアクションとして動的アクションで定義を選択します。



画面に表示されているユーザー名を設定するページ・アイテムP1_USERSを作成します。タイプはテキスト・フィールド、ラベルはUsersとします。



ボタンLIST_USERSに動的アクションを作成します。

識別の名前はonClick LIST_USERS、タイミングのイベントはデフォルトのクリックです。



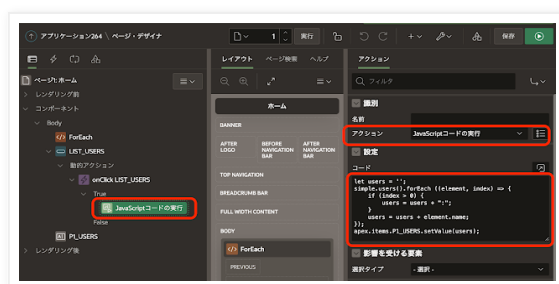
TRUEアクションとしてJavaScriptコードの実行を選択し、設定のコードとして以下を記述します。

画面上に表示されているユーザーを取得し、そのユーザー名を:区切りで連結したのち、ページ・アイテムP1_USERSに設定します。

```
let users = '';  
simple.users().forEach ((element, index) => {  
    if (index > 0) {  
        users = users + ":";  
    }  
    users = users + element.name;  
});  
apex.items.P1_USERS.setValue(users);
```

get_user_names.js hosted with ❤ by GitHub

[view raw](#)



以上でアプリケーションは完成です。アプリケーションを実行すると、記事の先頭のGIF動画のように動作します。

今回作成したAPEXアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。
<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/jet-bind-for-each.zip>

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 13:50

共有

<

ホーム

>

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)